



浜中野球部が交流大会優勝

浜岡中学校野球部が8月19日・20日、長野県高森町主催の「第34回島岡吉郎野球大会」に出場し、見事優勝しました。県内外から13チームが出場。

浜岡中学校と御前崎中学校は、本市と高森町が平成19年9月24日に友好都市提携を結んで以降、野球を通じて人間性を培うことを目的に、交互に同町の学校と交流を深めています。

◀13チームのトップに輝き、笑顔の部員



海をきれいにする奉仕活動

国土交通省中部地方整備局清水港湾事務所長から「海をきれいにするための一般協力者」として表彰された「NPO 法人 EarthCommunication」と「心がすっきり御前崎で夢拾い」が8月23日、柳澤市長に受賞を報告しました。

柳澤市長は「御前崎の海を守るため、素晴らしい活動をこれからも続けてほしい」と話しました。

◀両団体は「御前崎のきれいな海を守りたい」と話しました



選手兼監督で剣道全国大会

10月8日から10日にかけて鹿児島県で開かれる「第78回国民体育大会剣道大会」に出場する高田和幸さん(広沢区)が8月24日、柳澤市長に抱負を語りました。

5月に開かれた「第60回静岡県年代別剣道選手権大会」15歳以上の部で優勝し、2年連続で同大会団体戦メンバーに選出。高田さんは「大会には実力者が多く集まる。挑戦者として一生懸命戦います」と意気込みました。

◀柳澤市長は「全国大会でも全力を尽くしてほしい」と話しました



北海道で消防救助技術競う

市消防本部救助隊の高井健伍隊員・川合大介隊員ペアが8月25日、北海道で開かれた「第51回全国消防救助技術大会」ロープ応用登はんの部に出場し、減点なしの成績で入賞しました。

同大会では、陸上の部と水上の部の全16種目を実施。全国723消防本部から約1,000人の隊員が出場し、日々鍛えた消防救助技術を競いました。

◀全国の舞台上でレベルの高い消防救助技術を披露した2人

※本紙7月号「きらり輝く人」で紹介しています。



手遊びで脳を活性化させる

「あたまの健康チェック教室」が9月6日、高松地区センターで開かれ、地区住民17人が参加しました。

講師は市立御前崎総合病院の作業療法士と高齢者支援課の職員。「手を動かす」、「声を出す」という2つの動作を同時にすることで脳を活性化させ、認知症を予防する効果があるといわれています。参加者は間違えずにできるたび、歓声を上げて喜んでいました。

◀あたまの体操ゲームを楽しむ参加者



安全な自動車運転のために

地域協働バスの運転手を対象とした「健康安全運転講座」が9月7日、新野地区センターで実施されました。

参加者は20人。講師の静岡ダイハツ、JAF静岡支部、静岡県理学療法士会が、運転姿勢の確認や自動ブレーキシステムの体験、健康指導などを実施しました。参加者の齊藤修さん(新野南)は、「シートの位置や姿勢に注意し、運転しなければならぬ」と話しました。

◀障害物が死角にあり、運転席から一つも見えないことに驚く参加者



拾った流木でハンガー作り

御前崎中学校の全校生徒が授業で作った流木ハンガーが9月2日から13日にかけて、市立図書館アスパルで展示されました。

5月に実施された海岸清掃で生徒が拾った流木を材料に使用し、環境汚染への関心を高めることが目的。この取り組みを発案した酒井陽介教諭は、「生徒にはごみを出さないように意識してほしい」と話しました。

◀ハンガーや小物吊りなど工夫を凝らした作品が展示された



ラグビー選手が御前崎小へ

御前崎小学校の5・6年生68人が9月12日、静岡県小笠山総合運動公園エコパを拠点に活動する7人制女子ラグビーチーム「アザレア・セブン」の選手3人からラグビーを学びました。

児童は3対3のミニゲームなどで大盛り上がり。吉村理玖さん(下岬区)は「ルールを覚えることが難しかったけど楽しかった」と笑顔で話しました。

◀選手のディフェンスを越えようとパスを回す児童